

2050年ゼロカーボンシティ in たけお

温室効果ガス排出量の増加により、世界的に猛暑や豪雨など地球温暖化が原因とみられる異常気象による災害が増加しております。今後、災害が頻発・激甚化することが予測されており、こうした事態が「気候変動」ではなく、人類やすべての生き物の生命を脅かす「気候危機」という状況にあります。

武雄市においても、令和元年8月の豪雨により甚大な被害を受けたほか、日本各地でもこれまでに経験したことのないような、豪雨や台風による甚大な被害が発生しております。

こうした被害から我々の生命や財産、自然の生態系を守るためには、地球の平均気温の上昇を1.5℃に抑える必要があります、そのためには2050年までに温室効果ガスの実質排出量をゼロにすることが必要、とされております。

将来的に安心して暮らすことのできる自然環境を守っていくために、また災害に強いまち、自然との共生ができるまちを築き上げていくために、武雄市では脱炭素社会の実現に向け、「2050年ゼロカーボンシティ in たけお」のもと、市民・事業者が一丸となって、温室効果ガス排出量の削減に取り組むことをここに宣言します。

令和2年3月24日

武雄市長 小松 政